

珠洲市

わかやまがわ こうずい ひなんちず 若山川洪水避難地図

この洪水避難地図を利用して、日頃から家族や地域のみなさんと話し合ひましょう。

● 平常時の心得・避難計画

交流

地域のみなさんとの日常的な交流を心がけましょう。

気配り

お年寄り、子ども、障害のある人などへの日頃の気配りを大切にしましょう。

準備

避難時の持ち出し品は日頃から準備し、できるだけ少なくまとめおきましょう。

避難

自宅から避難所までの複数の道順や方向を確認し、日頃から避難訓練をしてみましょう。

知識

雨・洪水とは？

日頃より洪水についての知識、理解を深めましょう。

【わが家の避難計画】

わが家の避難場所（市指定）は です。例：〇〇小学校など施設名称を記載しましょう。

わが家に避難に時間を要する人はいますか？
該当があればチェックしてください。

- ご高齢の方 介助の必要な方 妊婦さん
- 病気の方 障がいのある方 赤ちゃんや小さい子ども

警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始	警戒レベル4 避難勧告/避難指示(緊急)	警戒レベル5 災害発生情報
<input type="checkbox"/> 前項でチェックあり 直ちに避難を開始します。	<input type="checkbox"/> 前項でチェックなし 直ちに避難を開始します。	全員避難完了
<input type="checkbox"/> 前項でチェックなし 避難の準備を始めます。		

わが家の避難するタイミングは です。例：警戒レベル4などを記載しましょう。

● 警戒レベルを用いた防災情報

【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。
各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは限りません。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
5	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとります。	災害発生情報 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令（珠洲市が発令）
4 全員避難	速やかに避難先へ避難 しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) 地域の状況に応じて緊急のまたは重ねて避難を促す場合に発令（珠洲市が発令）
3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 (珠洲市が発令)
2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)
1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)

● 災害への「備え」チェックリスト

電気がガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。
防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品等を備えるようにしましょう。

- 避難の際に持ち出すもの！ **【非常用持ち出し袋】**
- 水
 - 食品（ご飯（アルファ米など）、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど：最低3日分の用意！）
 - 防災用ヘルメット・防災ずきん
 - 衣類・下着
 - レインウェア
 - 懐中電灯（※手動充電式が便利）
 - 携帯ラジオ（※手動充電式が便利）
 - 予備電池・携帯充電器
 - マッチ・ろうそく
 - 救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）
 - マスク
 - 使い捨てカイロ
 - ブランケット
 - 軍手
 - 洗面用具
 - 歯ブラシ・歯磨き粉
 - タオル
 - ウェットティッシュ
 - ペン・ノート

一緒に持ち出そう!! 貴重品（通帳、現金、パスポート、運転免許証、マイナンバーカード、病院の診察券など）

- 子供がいる家庭の備え**
- ミルク（キューブタイプ）
 - 使い捨て哺乳瓶
 - 離乳食
 - 携帯カトラリー
 - 子供用紙オムツ
 - お尻ふき
 - 携帯用お尻洗浄機
 - ネックライト
 - 抱っこひも
 - 子供の靴
- 女性の備え**
- 生理用品
 - おりものシート
 - サニタリーショーツ
 - 中身の見えないごみ袋
- 高齢者がいる家庭の備え**
- 大人用紙パンツ
 - 杖
 - 入れ歯用洗浄剤
 - 男性用吸水パッド
 - テリケートゾーンの洗浄液
 - 持病の薬
 - お薬手帳のコピー

- お家に備えておくもの！ **【備蓄品】**
- 食料や水（最低3日分！できれば1週間分）×家族分
保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に食料の備蓄が可能！
 - 生活用品
例えば、ティッシュ、トイレットペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレ…など

ローリングストック

食料等を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すこと（ローリングストック）で、備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることが可能になります。
備蓄品の賞味期限などを定期的に確認しておきましょう。

● 水害発生時における避難の心得

避難行動の基本原則を理解しましょう

- 行動① 安全確保は浸水前の早めの避難**
- 避難勧告などが発令されたら、浸水や降雨がなくても早めの避難を判断しましょう。雨が降っていないなくても、河川の上流で大雨が降っている場合には急激に増水することがあります。
- 行動② 浸水してからの避難は大変危険**
- 浸水した水は泥水のため、足元が見えず大変危険です。また、汚水や工場排水などが混ざり細菌や有害物質などが含まれている可能性があります。人体に悪影響を及ぼす危険があります。
- 行動③ 万一避難が遅れたら屋内安全確保**
- 建物が堅牢かつ上層部に避難できる場合のみ、逃げ遅れた際の最終手段として検討可能です。**確実に安全が確保できる避難方法ではありません。**

自宅外避難の心得 珠洲市から避難情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

避難先・避難ルートを確認する

- 近くの高台や指定避難所までの安全な避難ルートは平時のうちに確認しておきましょう。また、日頃から地域の防災訓練に積極的に参加しましょう。

避難方法を確認する

- 車での避難は緊急自動車の交通の妨げや交通渋滞に巻き込まれて逃げ遅れる危険があります。病人や要配慮者などを避難させる特別な場合を除いて、車での避難は避けましょう。

早めの避難を心がける

- 夜間や浸水してからの立ち退き避難は極めて危険です。テレビなどで防災情報を確認しながら、身の危険を感じたら避難勧告などの発令を待たず自主避難を開始しましょう。

避難の際はご近所にひと声かけて

- 単独行動は避け、近所に高齢者など避難に時間を要する要配慮者がいる場合は、声をかけて一緒に避難しましょう。

やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意

- 長靴は水の中で足を取られて危険です。運動靴を履きましょう。
- 水の中を歩ける深さの目安は50cm(大人の膝程度)までと言われています。流れが速い場合は特に危険です。
- 傘や長い棒を杖にして、水の中の障害物を確認しながら注意して避難しましょう。
- マンホールのふたが外れていることに気付かず、転落する危険があります。注意して避難しましょう。
- 切れた電線など危険が感じられる場所は絶対に近づかないでおきましょう。

自宅滞在の心得

- 家屋への浸水を軽減する**
- ポリ袋で簡易水のう** ポリ袋を2重にして中に水を入れて締め、段ボール箱などに入れて浸水を防ぎます。
 - ポリタンクとレジャーシート** ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込みます。
 - プランターとレジャーシート** 土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込みます。
 - 止水板** 出入口を長めの板で塞いで浸水を防ぎます。

思わぬ場所からの浸水を防ぐ

- 下水が逆流してトイレから汚水が噴き出すことがあります。水を入れたビニール袋を重にして押さえるなどの対策をしましょう。
- 床下収納のふたが開いて水が噴き出す場合があります。重しをして浸水を防ぎましょう。

水道・電気・ガス・トイレなどライフラインの停止に備える

- 備蓄品も浸水を免れる場所へ移動しましょう。
- 数日分の蓄着えとして、衣類を持ち出しておきましょう。

家財の被害を軽減する

- 貴重品や重要書類は、浸水を免れる高い場所に移しましょう。
- 移動が可能な家電製品は高い場所へ移動しましょう。
- 自動車は早めに浸水を免れる場所へ移動しましょう。
- アルバムなどの思い出の品も持ち出せる場合は移動しましょう。

被災後は安全を点検しましょう

- 断線した電線が家屋に触れていないか確認しましょう。
- 活動時にケガをしないよう、肌を露出しない服装で、ヘルメットも着用しましょう。
- 落下や倒壊の危険物は無いか確認しましょう。
- 家の中は風通しを良くして乾燥させましょう。
- 浸水の被害にあったら念入りに消毒しましょう。
- 水害を受けたら衛生に注意しましょう。水道水は煮沸し、手の消毒を忘れないようにしましょう。

● 災害時等の情報入手先

珠洲市メール配信サービス

珠洲市では、災害情報など(気象情報、防災情報など)を登録制の電子メールで配信しています。

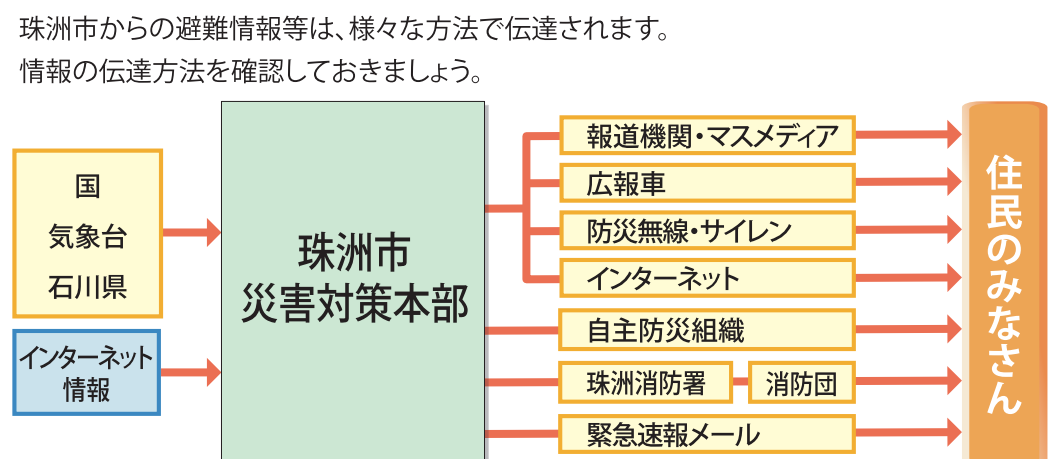
【PC/携帯】 suzu@entry.mail-dpt.jp

※上記のメールアドレスに空メールを送ると、登録用のメールが届きます。
※登録や情報については無料ですが、メールの送受信や案内ページ等の閲覧にかかる通信費用は、登録者の負担になります。
※詳しくは、珠洲市のホームページ『珠洲市メール配信サービス』をご覧ください。

情報の入手先

- 防災・気象情報などはこちら
[石川県防災気象情報ホームページ](https://www.micosfit.jp/ishikawa.pref/)
- 金沢地方気象台ホームページ
<https://www.jma-net.go.jp/kanazawa/>
- 河川情報はこちら
[石川県河川総合情報システムホームページ](http://kasen.pref.ishikawa.jp/ishikawa/)
- 土砂災害情報はこちら
[石川県土砂災害情報システムホームページ](https://sabo.pref.ishikawa.lg.jp/sabo-i/sp)
- 珠洲市其他ハザードマップ
市では、次のハザードマップも作成しています。市ホームページの「防災情報」から確認できます。
[珠洲市の防災情報ホームページ](https://www.city.suzu.lg.jp/soumu/bousaisuzu.html)
- 土砂災害ハザードマップ
- ため池ハザードマップ
- 津波ハザードマップ

● 避難情報等の情報伝達経路



緊急速報メール
携帯電話事業者が無料で提供するサービスで、国や地方公共団体による災害・避難情報等を、回線混雑の影響なく、特定のエリア内の対応端末(スマートフォン・携帯電話)に一斉に配信するものです。

NTT災害用伝言ダイヤル171
災害時には電話がつながりにくくなります。安否確認には災害用伝言ダイヤルを利用しましょう。

伝言の録音方法 ①⑦① 「171」をダイヤルすると、ガイダンスが流れます。

伝言の再生方法 ①「1」をダイヤル
②「2」をダイヤル

【被災地の方】：【被災地以外の方】
ご自宅、または、連絡を取りたい連絡を取りたい。被災地の方の電被被災地の方の電。電話番号を、市外話番号を、市外。局番からダイヤルして下さい。ルして下さい。

伝言の録音(30秒以内)
伝言の再生

● いざというときの連絡先

- 珠洲市役所** 82-2222
- 珠洲消防署** 82-0247
- 珠洲警察署** 82-0110
- 洪水ハザードマップに関するお問い合わせは
危機管理室 tel: 82-7725
または
珠洲市 建設課 都市整備係 tel: 82-7757